

調査者や研究者を支援することで
鳥と人の未来を
一緒に思い描いてみませんか？



バードリサーチ 調査研究 支援プロジェクト

寄付者による **投票で**
支援額が決まる
新しいカタチの
支援プロジェクトです。

●スケジュール





あなたの1票を、調査研究の推進力に！



鳥を愛し、鳥類の調査や研究を応援したいと思う方ならだれでもご参加いただけます。

1. 選ぶ

バードリサーチが募集し、一次選考によって選んだ最大 9 件+バードリサーチからの 1 件の調査・研究プランの中から、応援したいプランを選んでください。裏表紙の調査・研究プランリストをご覧ください。

2. 寄付

個人一口
3,000円

*何口でも OK です。

3. 投票

1 口の寄付に対して 1 票をお預けします。寄付が複数口の場合、ひとつのプランに何票投票しても構いませんし、複数のプランに投票することもできます。投票先を指定しない寄付も大歓迎です。

●寄付&投票するには ...



a. クレジットカードで寄付を送る場合

下記のホームページをご覧ください。

http://www.bird-research.jp/1_event/aid/kifu.html



b. 銀行または郵便局から寄付を送る場合

Step 1. メールまたはFaxを送る。

下記の担当宛てにメールかFaxで次の項目を伝えてください。

- ・お名前とご住所
- ・メールアドレス
- ・寄付口数
- ・支援する調査・研究プラン
(寄付が複数口の場合は、プランごとの票数)
- ・あなたのお名前を支援先に伝えて良いかどうか

バードリサーチ調査研究支援プロジェクト担当
高木 憲太郎

E-mail: takagi@bird-research.jp

Fax: 042-401-8661

Step 2. お金を振り込む。

下記のいずれかの口座に合計額を振り込んでください。
(振り込み手数料はご負担ください。)

- ジャパンネット銀行 (銀行番号 0033)
本店営業部 (支店番号 001)
普通 8148578
名義: トクヒ) バードリサーチ
- 郵便振替口座
記号番号: 00150-9-685654
名義: 特定非営利活動法人 バードリサーチ
- 郵便貯金 (ばるる口座)
記号番号: 10120-49233551
名義: 特定非営利活動法人 バードリサーチ

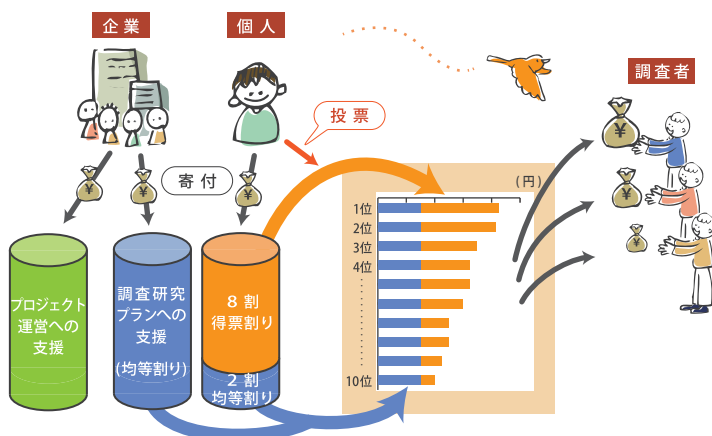
●支援額の決定方法



集まった寄付のうち、2 割を支援先に均等に分配し、8 割を得票数に応じて支援先に分配します。またこれに加えて、企業からいただいた寄付を支援先に均等に分配します。

1 件のプランへの支援額は、1 万円～ 50 万円程度を想定しています。想定を超える寄付が集まった場合は支援方法の見直しを行います。

* ルールはプランの応募数や投票数、集まるプランの内容によって、変更することがあります。



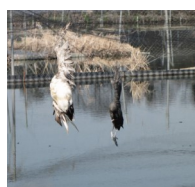
バードリサーチ 調査研究支援プロジェクト



2017年度 支援先調査研究プランのご紹介

2017年9月～10月に支援先となる調査研究プランの募集を行ない、16件のプランが集まりました。その中から支援先を決定するため、上田恵介立教大学名誉教授、尾崎清明山階鳥類研究所副所長、金井裕日本野鳥の会参与、植田睦之バードリサーチ代表の4名で一次審査を行ない、バードリサーチからの1件を含め10件の支援先を選定しましたので、各プランの概要をご紹介します。プランの詳細はホームページにPDFで掲載しています。

001防 鳥ネット羅網死根絶に向けたハス田におけるカモ類の採食方法とその頻度の解明 池野進（日本野鳥の会茨城県）・安藤温子（国立環境研究所）



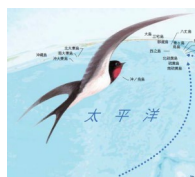
池野さんと安藤さんは、本当にカモ類が商品価値のあるレンコンを食害しているのかどうかを調べようとしています。もし、収穫後のハス田でカモ類が採食しているならば、事故が起きる防鳥ネットをたくさん設置する必要はなくなります。羅網死根絶に向けて取り組む活動を科学的な調査からバックアップするための調査研究プランです。

002神 奈川県における野鳥のガラス窓への衝突事故を調査する ～野鳥の衝突事故を調査して、その防止策を考える。 遠藤順一・安井啓子・渡辺優子（NPO法人野生動物救護の会）



野生動物救護の会の遠藤さんたちは、窓ガラスに鳥が衝突する事故について調べています。この調査研究プランでは、センサーカメラなどを使って事故原因の究明や事故防止策の検討をするほか、これまでに蓄積した救護データを分析し、事故の傾向を細かく分析する計画です。

003小 笠原諸島～伊豆諸島 ツバメの渡り調査 重原美智子（小笠原諸島～伊豆諸島ツバメの渡りネットワーク）



重原さんは、小笠原諸島や伊豆諸島で観察されるツバメがどこから渡ってきているのか、明らかにしようとしています。島で鳥を観察している人たちとネットワークを作って、ツバメの初認情報を集めて分析することで、太平洋を縦断して渡ってきているのか、それとも、本州に渡来したツバメが南下してきているのか、突きとめる調査研究プランです。

004南 大東島に暮らす亜種ダイトウコノハズクの将来設計 産卵開始を急ぐことは有利な戦略か 澤田明（大阪市立大学大学院理学研究科）



澤田さんは、南大東島の亜種ダイトウコノハズクが、少し離れた他の南西諸島の島々にいる亜種リュウキュウコノハズクより、1か月以上も早く繁殖を開始することに着目しました。狭い島で高密度に生息していることが繁殖時期を早めるように促しているのではないかと考え、「統合個体群モデル」という統計手法を用いて、この鳥の進化の仕組みを解き明かそうとしています。

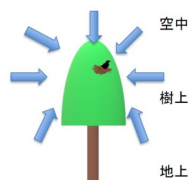
005東 京都心におけるウミネコ屋上繁殖個体群の移動追跡 都心ウミネコ研究グループ



札幌でオオセグロカモメがビルの屋上で繁殖しているということが確認されたのが15年前のことですが、東京の都心でもウミネコの繁殖が確認されました。都心ウミネコ研究グループでは、ウミネコがどのように都市環境に適応しているのか、その生態を探る一歩として、分布状況の調査やカラーマーキング等による移動追跡の調査などを計画しています。

006 ハシブトガラスの巣、上から見るか横から見るか

松原始（東京大学総合研究博物館）・森下英美子（文京学院大学環境教育研究センター）



巣を藪の中などに造り、捕食を回避しようとする小鳥は多くいます。市街地では怖いものなしに見えるハシブトガラスも、葉の生い茂った常緑広葉樹の樹冠部などに営巣することが多く、山林ではなかなか見つけることができません。松原さんと森下さんは、ドローンを用いて彼らの巣の隠蔽度を様々な角度から調べ、何から巣を隠そうとしているのかつきとめようとしています。

007 チゴハヤブサの営巣数減少の要因はなにか？

立石淑恵（弘前大学農学生命科学部）



立石さんは、津軽地域のチゴハヤブサの繁殖状況を調べ、この15年ほどの間に激減していることを示しました。この調査研究プランでは、その原因を究明するため、再度分布状況を調査し、ビデオカメラなども活用して巣内雛の死亡原因を調べると共に、2001-2004年に繁殖が確認されていた場所の環境変化を調べる計画です。

008 コアジサシコロニーのモビング ～さぼっているのは誰だ！～

西條未来（総合研究大学院大学）



コアジサシは、浜辺や河原にコロニーを作り、捕食者に対しては群れでモビングします。西條さんは、この行動における彼らの戦略を明らかにしようとしています。目視観察とカメラを使って、どの捕食者に対してモビングするのか、ヒナの数や繁殖ステージなどによってモビングに参加するかどうかの判断を変えているのかを調べます。

009 長野県におけるアカモズの生息状況調査

松宮裕秋（信州大学）・原星一



絶滅が危惧されているアカモズ。長野県でも各地で姿を消しています。しかし、近年、そのアカモズがリンゴ園で繁殖していることが明らかになりました。松宮さんと原さんは、この調査研究プランで長野県全域の可能性のある果樹園を網羅的に調査してアカモズの生息個体数を明らかにすると共に、彼らが好む果樹の栽培方法を明らかにして、保全につなげようと考えています。

010 記憶より記録、さえずりナビを使った野鳥観察のデータベース化と分析

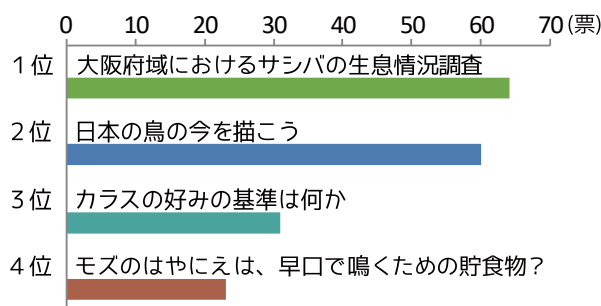
バードリサーチ



フィールドでの記録をデータとして管理するためにバードリサーチでは野鳥記録データベースの提供を行なっています。この機能をスマートフォンアプリ「さえずりナビ」と統合し、2017年12月に新システムを公開しました。この調査研究プランでは、システムのバージョンアップをする他、集積されるビッグデータを繁殖分布調査など各種の研究に活用する計画です。

昨年度（2016年度）投票＆支援結果のご報告

昨年度もバードリサーチ調査研究支援プロジェクトへ、たくさんのご投票とご寄付をいただき、本当にありがとうございました。支援先となる調査研究プランが4件と少なかったのですが、2014年度の231票を上回る240票のご投票をいただきました。支援総額は789,000円、これらを得票数（右図）で割り振り、支援先に贈呈しました。





バードリサーチ調査研究支援プロジェクト

支援意思表示 Fax 連絡票

お名前：〔 〕 ご住所：〔 〒 〕

E-mail：〔 〕 支援先にあなたのお名前を伝えたくない場合は右の口にチェックしてください。 ☐

001 防鳥ネット羅網死根絶に向けたハス田におけるカモ類の採食方法とその頻度の解明
(池野進・安藤温子) 〔 〕 票

002 神奈川県における野鳥のガラス窓への衝突事故を調査する ～野鳥の衝突事故を調査して、その防止策を考える。
(遠藤順一・安井啓子・渡辺優子) 〔 〕 票

003 小笠原諸島～伊豆諸島 ツバメの渡り調査
(重原美智子) 〔 〕 票

004 南大東島に暮らす亜種ダイウトウコノハズクの将来設計 産卵開始を急ぐことは有利な戦略か
(澤田明) 〔 〕 票

005 東京都心におけるウミネコ屋上繁殖個体群の移動追跡
(都心ウミネコ研究グループ) 〔 〕 票

006 ハシブトガラスの巣、上から見るか横から見るか
(松原始・森下英美子) 〔 〕 票

007 チゴハヤブサの営巣数減少の要因はなにか？
(立石淑恵) 〔 〕 票

008 コアジサシコロニーのモビング ～さぼっているのは誰だ！～
(西條未来) 〔 〕 票

009 長野県におけるアカモズの生息状況調査
(松宮裕秋・原星一) 〔 〕 票

010 記憶より記録、さえずりナビを使った野鳥観察のデータベース化と分析
(バードリサーチ) 〔 〕 票

■支援先を決めずに寄付する 〔 〕 票

銀行または郵便局から寄付を送ってくださる場合は、メールの代わりに、この用紙を使って Fax でご連絡いただくこともできます。
Fax 後に銀行または郵便局の指定口座に、合計額を振り込んでください。

1票=1口 3000円 × 合計 〔 〕 票
=寄付額合計 〔 〕 円



送付・連絡先

バードリサーチ調査研究支援プロジェクト担当 高木憲太郎

E-mail: takagi@bird-research.jp Fax: 042-401-8661